

ご利用案内

投映日時＝土・日・祝日

投映時間・内容(4～6月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
それいけ!アンパンマン ～星空をかえせ～ ワンピース プラネタリウム	太陽系の惑星 ワンピース プラネタリウム 星空解説 ※4/12(土)「親子プラネタリウム」は別内容となります。	神秘の光 オーロラ かぐやと KAGUYA～月が地球にくれた贈り物～ 星空解説

※希望投映は事前予約が必要となります。詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

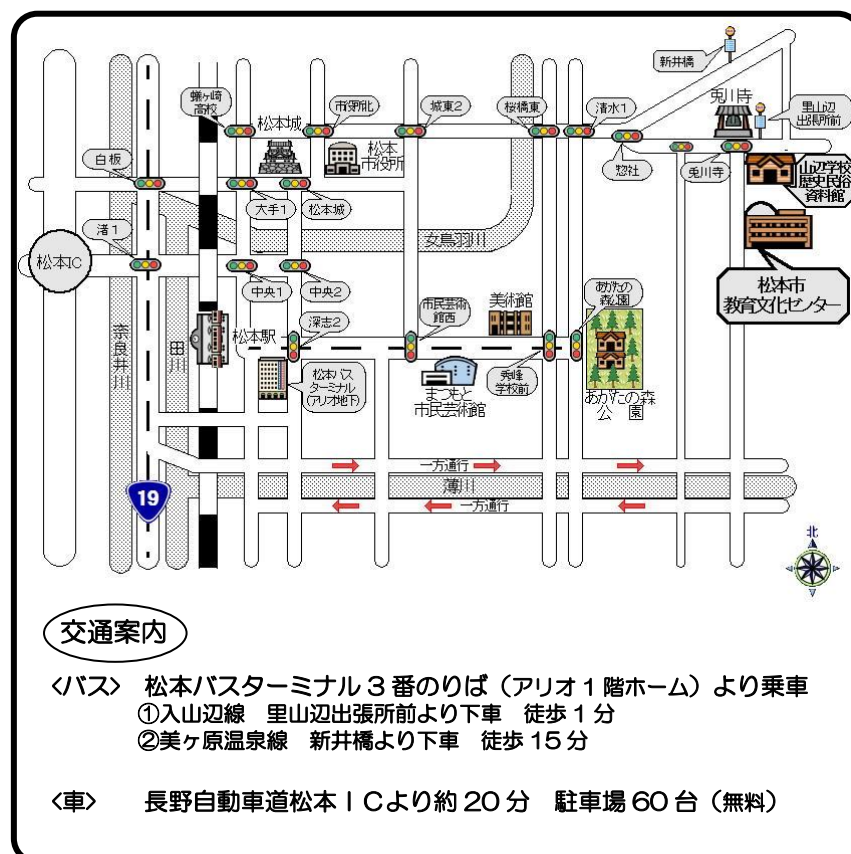
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

☆☆ 星空音楽館企画委員募集 ☆☆

当センターで行われる「星空音楽館」の企画委員を募集しています。
企画の参加・プラネタリウムで流す音源の選定・当日の受付などを行います。
興味のある方は是非ご連絡ください。

教育文化センター プラネタリウム通信

No.10 2014.04.05

4 月の新番組

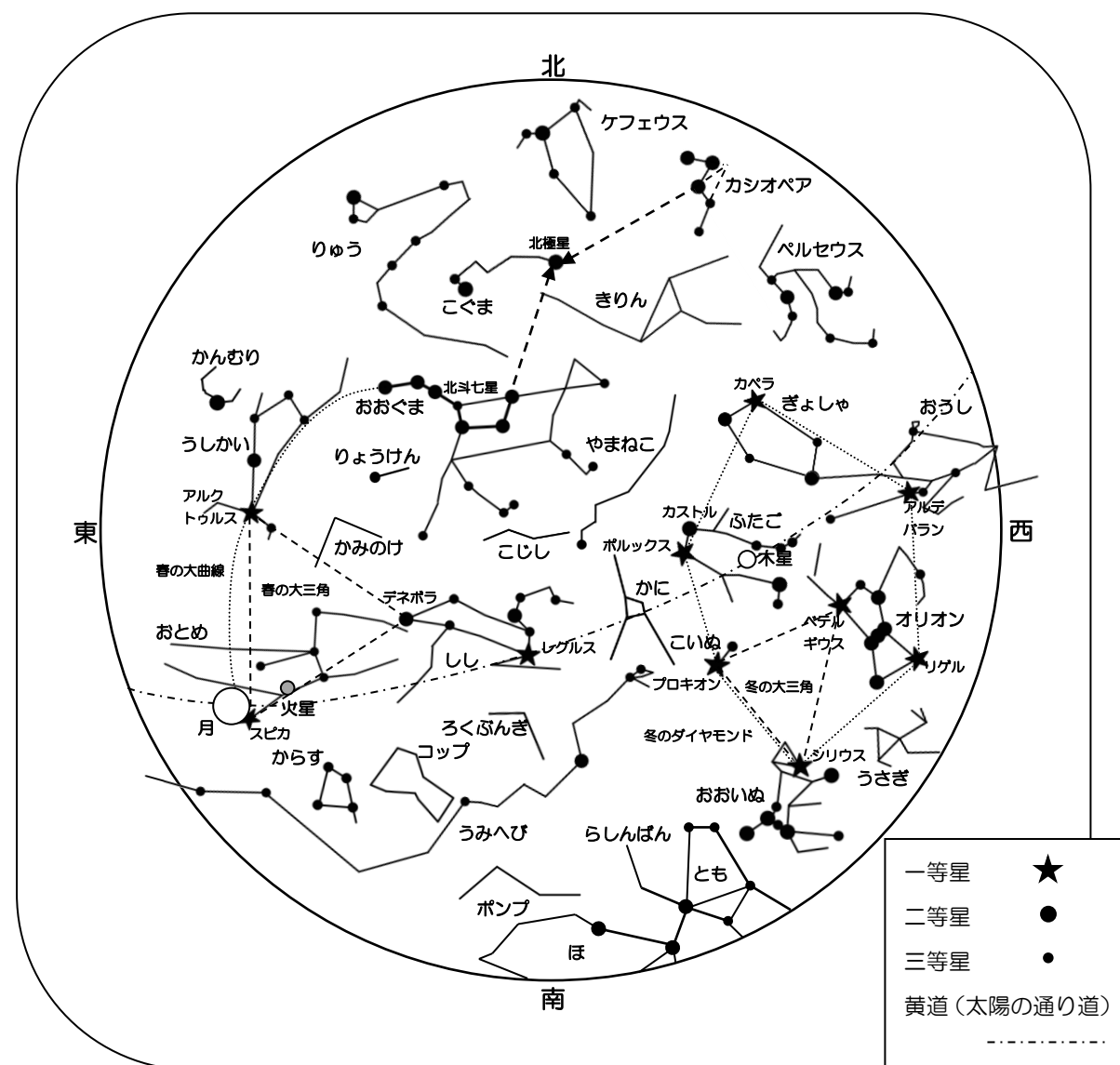
☆ 「かぐやと KAGUYA～月が地球にくれた贈り物～」 ☆



※番組に関する情報は今号の本文中で紹介をしています。

季節の星空

4月15日20時頃の松本の星空



4月の主な天文情報

4(金) 月とアルデバラン(おうし座の1等星)が西の空に並ぶ

7(月) 月が木星の南を通過

9(水) 火星がおとめ座で衝

14(月) 月と火星が接近

火星が地球に最接近

15(火) 満月

皆既月食(松本では月の出直後東の空で短時間、部分月食が見える)

23(水) こと座流星群が極大

29(火) 新月

★
衝→地球からある太陽系の天体を見たとき、その天体が地球を挟んで太陽と正反対の位置になること。衝の状態にある天体は、ほぼ一晩中観測できることや、太陽からの反射光が増え明るく見えることなどから、天体の観測に適していると言えます。

★
極大→活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

4/12(土) ☆親子プラネタリウム 13:30～

親子連れの方を中心に楽しめるよう、番組の無料投映を行います。
今回のテーマは「^{かせい}火星」です。申し込み不要。先着90名。

4/26(土) ☆星空散歩・星の観望会 19:30～21:00

天体望遠鏡を使って、春の天文現象を観測します。

受付開始:4/16(水) 8:30より 定員:40人(小学生以上)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

新番組 かぐやとKAGUYA～月が地球にくれた贈り物～ あらすじ

わたしたちはずっと昔から知っていたのかもしれない。

美しい地球…それは月のかぐやからの贈り物。

月探査周回衛星SELENE(かぐや)のもたらした最新科学と、語り継がれた民族の伝承-竹取物語(KAGUYA)を通して、人間と月との結びつきを壮大なスケールで描く、美しい地球の物語。

地球の衛星である「月」。

人類の月探査計画は進み、2007年に打ち上げられた日本の月周回衛星セレーネ「かぐや」は1年半にわたり様々な観測を行った。

「かぐや」は月の裏側だったミステリーゾーンに初めて光をあてたのである。

今から46億年前、巨大小惑星が猛烈な勢いで地球に衝突した。世に言うジャイアントインパクトである。残骸の一部は地球を周回する軌道上で成長し、やがて地球を周回する衛星となった。

月の誕生である。

月を誕生させた小惑星の衝突は、地軸を傾け、太陽を一周する際に、光のさす角度の違いを生み、これが移りゆく季節の四季を創り出す。

世界中の全ての人々が、月を見て、月と暮らしてきた。

月は時として神であり、畏れであり、やがて科学研究の対象になった。四季の感覚豊かな日本では、民族風習は月とともに歩んできた。

昔から日本人は季節の移ろいを肌で感じ、月を花を水を愛でては心を和ませてきた。

そしてこの物語が生まれた。日本人の月に対する想いが生んだ、「かぐやひめ」の物語。

総合プロデューサー 鈴木輝一

構成・監督 柳瀬三郎

竹取物語 画 岡田嘉夫

映像制作 太陽企画株式会社

著作 株式会社ピー・フォー